

6-1 1/6の指導計画

(1) 目 標

リライトについて知り、学習課題を設定して学習の見通しをもとうとする。

(2) 展 開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 リライトについて学習の手引き①を読んで概略を知り、興味をもつ。 2 本時の目標を知る。	学習の手引き①	○読書生活を振り返らせ、映画化や漫画化もリライトであることを知らせる。	
リライトについて知り、学習課題を設定して学習の見通しをもとう				
展開	3 簡単なリライトに取り組む。 4 本単元で行うリライトの条件を確かめ、原作とリライトした作品を読み比べる。 5 学習計画表で学習課題と学習の流れを確認する。 [学習課題] 「主人公を替えてリライトし、書いた作品を読み合うことで小説を想像豊かに読む力や表現を工夫して書く力を付けよう」	ワークシート① 学習の手引き② 学習計画表	○ワークシート①のリライトに取り組むことを通して、リライトについて理解させる。 ○一問ごとに解説を加え、リライトについて理解を確実にさせる。 ○手引き②にある条件と対応させて2つの文章を比べさせ、リライトの仕方を具体的に理解させる。 [条件] I 主人公にした人物の心情を書く II 主人公にした人物の視点から出来事を書く III 表現の仕方をまねる ○学習計画表の「流れ」の空欄に「まとめる・伝え合う」と記入させて、リライトをして作品を交流することについて再確認させる。	関-1 主人公を替えてリライトするためにリライトの仕方を知り、学習の見通しをもとうとしている。 【取り組みの様子】 【ワークシートの記述】 リライト学習がイメージできない生徒には学習の手引き②に例示した文章とそのリライト作品を注記ごとに比べ読みさせながら読ませ、分からないところを質問させるなどして個別に指導する。
まとめ	6 本時の学習を振り返り、学習計画表の自己評価欄に記入する。 7 次時の目標や学習活動を確認して見通しをもつ。	学習計画表	○学習計画表の記入要領を説明する。 ○学習活動ができていたら□にチェックをさせ、自己評価の欄の「えびフライ」や「学んだこと」の欄も記入させる。 ○次時は、登場人物の人柄や背景、心情等を読み取っていくことを伝える。	